Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka　2015-01-15

# APM news 120

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新潟日報 夕刊 連載記事　掲載期間：11月6日（木）～27日（木）／記者：椿智彦

## 人ものがたり「イラストの力信じ」全12回

人ものがたり

●ポスターデザイナー　秋山　孝さん（62）

1 伝える

イラストの力信じ

Chikara

# 時代えぐる柔らかな筆

柔らかな線、ポップな色使い。旅行雑誌「じゃらん」の表紙を毎号飾った作品で知られるポスターデザイナー秋山孝（62）＝長岡市出身＝。商業イラストの分野で成功を収める一方、環境問題や災害といった重いテーマを扱った作品も発表している。親しみやすいタッチの奥底に強烈なメッセージを秘めた作品は、現代社会が抱える問題をえぐり出す。イラストの持つ力を信じ、国内外へ発信を続けている。（長岡支社・椿智彦）

骨格の一部を露出させた鳥がオレンジ色の空を飛ぶ。1986年にポーランドで開かれた第11回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレで金賞を獲得した「WILD LIFE―HELP」。秋山が初めて国際舞台で評価を得た作品だ。

80年代は酸性雨が世界的に注目を集めていました。ヨーロッパでは、屋外にある大理石でできた像などの文化財が酸性雨で溶けちゃうので大問題になっていました。もちろん日本でも、屋外の美術作品が影響を受けていました。

これは何とかしなければいけないと、酸性雨問題をポスターアートで訴えようと考えたときに、頭に浮かんだのが鳥の骨が空を飛ぶ姿でした。酸性雨によって体の一部を溶かされた鳥です。

背景には、危機感を表す色としてオレンジを選びました。鳥は緑、自然や生き物を象徴する色です。オレンジと緑は対比の関係にあります。並べると、それぞれの色の性質が強調されるんです。

そんなオレンジ色の空を半分白骨化した鳥が飛んでいる。「死が飛んでいる」というイメージを表現したかったんです。

70年代以降、公害や環境問題への関心が高まりました。東京の美術学校に通っていたころ、水道管を流れる神田川なんて本当にどぶ臭かった。情報を仕入れ、社会の動きに敏感になる必要があると考えています。

そうして生まれた作品が、砂のようなものが排ガスのすすなんでしょうか、たまるなんて日常茶飯事でした。

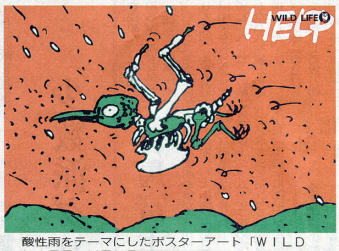
時代の空気をどう伝えるか。そうしたテーマを追い求め、作品をつくり続けてきた。重いテーマを選ぶ一方で、筆運びは柔らかく、どこかユーモアさえ感じさせる。

描いたポスターアートは650点以上あります。僕は社会が失ってしまったものや、ないがしろにしてきたものに興味があるんです。そういうものを描いたポスターをつくりたい。だから新聞をはじめ、メディアから見る人の心に静かに入り込んでいくものでないといけないと思っています。

ただ、社会問題を訴えるとはいっても、あまりにストレートな表現だとのかなと思います。リアルで恐ろしいだけの表現では、人はおのずと目をそらしてしまいますよね。だから抽象的に、例え話のようにしてイラストを描いていくんです。

（敬称略）

12回連載予定




酸性雨をテーマにしたポスターアート「WILD LIFE―HELP」

「社会の問題を親しみやすく、人の心に響くように描き続けたい」と語る秋山孝＝長岡市宮内2の秋山孝ポスター美術館長岡

あきやま・たかし
1952年、長岡市生まれ。長岡商業高校、多摩美術大学卒。東京芸術大学大学院修了。86年、第11回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレで金賞受賞。2000年から多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授。09年には長岡市に秋山孝ポスター美術館長岡を開設した。東京都新宿区在住。

第1回 伝える：2014年11月6日（木）掲載

新潟日報夕刊に「人ものがたり」というコーナーがある。新潟県に縁のある人物を取り上げ、その半生を綴る連載記事である。この度、秋山孝ポスター美術館長岡（APM）の秋山館長に関する記事が、2014年11月に全12回に渡り連載された。新潟日報・椿智彦記者による度重なる綿密な取材が行われた。取材は毎回数時間にも渡り、帰りは疲労困憊でグッタリとしてしまう程であったと椿記者は語る。その結果、館長の幼少期の美術との出会いから、学生時代、これまでのデザイナーとしての様々な活動、そして当館開館まで、館長のこれまでの人生についての話がぎゅっと詰まった濃い内容となっている。ポスターを通して社会問題と向き合ってきた館長の半生を巡ると、自ずと社会の歴史も見えてくる。しかし、この12回の連載で全てが語り尽くされたというわけではない。これはあくまで「秋山孝」を語る上での導入にすぎない。これをきっかけに興味を持った方が、この春、APMが開館した際に実際に来館してくれることを期待したい。（たかだみつみ・APM学芸員）

---

新潟日報 夕刊「人ものがたり」●ポスターデザイナー秋山孝「イラストの力信じ」全12回

第1回 伝える：2014年11月6日（木）掲載／第2回 衝撃：11月7日（金）掲載／第3回 受験生：11月11日（火）掲載／第4回 恩師：11月13日（木）掲載
第5回「じゃらん」：11月14日掲載（金）／第6回 苦悩：11月17日（月）掲載／第7回 エイズ：11月18日（火）掲載／第8回 中越地震：11月19日（水）掲載
第9回 原発事故：11月20日（木）掲載／第10回 故郷：11月25日（火）掲載／第11回 闘病：11月26日（水）掲載／第12回 美術館：11月27日（木）掲載